



中央市民病院ニュース

No.70

新年のご挨拶

神戸市立医療センター中央市民病院
 院長 細谷 亮



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

当院は神戸市の基幹病院として、市民の生命と健康をまもることを目的に、患者さん中心の質の高い医療を提供しております。大切な医療機能としましては、「救急医療体制の充実と高度医療の提供」の2本柱にあります。救急医療に関しましては、昨年は救急車搬送数1万件超、救急搬送応需率が99%超を達成し、まさに「断らない救急医療」を実践できております。また脳卒中に対しては、急性期血栓回収療法の治療効果が劇的に向上しておりますし、出血性脳卒中に対してもハイブリッド手術室を増設しましたので、24時間体制で血管内治療に対応可能な総合脳卒中センターとして活用しております。この結果もあり、厚生労働省による救命救急センター総合評価で5年連続全国第1位の栄誉に輝きました。大変誇らしく思っております。

高度医療に関しましても、最新の医療の進歩に対応できるように、がんゲノム診療外来を開設いたしました。また、外科系ロボット支援手術に関しましても、泌尿器科の前立腺癌・腎癌手術に加えて胃癌・直腸癌・食道癌・膀胱癌・子宮体癌におきましても当院では保険適応で手術を行っております。症例数の増加にともないロボット2台体制とし、一層の機能充実を図ってまいります。

かかる症例のご紹介に際しましては、是非FAX予約予約をご利用いただきたく、FAX予約率は80%に達しております。大規模待ち時間調査によりましても、FAX予約患者の予約時刻から診察開始時刻は中央値25分(30分枠内)に短縮できております。今後ともFAX予約をよろしくお願い申し上げます。

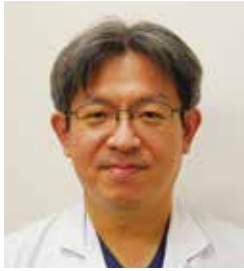
地域医療連携で月平均250例余りの転院実績があります。救急受け入れ強化がはかれておりますのも、病院単独の成果ではなく皆様のご協力の賜物でありまして、まさに地域完結型医療を展開できているものと大変感謝しております。今後とも連携医療機関や登録医の皆様方のご協力のもと、地域医療構想における神戸医療圏域の中核病院として、地域の皆様のご要望やご期待に応えられるよう努力を重ね、市民の最後の砦としての役割を果たしていく所存でございます。本年も引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

INDEX

新年のご挨拶	1	オープンカンファレンス等のご案内	3
消化器内科からのお知らせ	2	腹部超音波オープンカンファレンス がん診療オープンカンファレンス	
臨床研究推進センターからのお知らせ	2	連携登録医にご登録いただきました	3
初診・予約外受付時間変更のお知らせ	3	患者さんをご紹介いただく際は	4

診療部門からのお知らせ

消化器内科からのお知らせ



消化器内科医長 占野 尚人

消化器内科で担当する疾患は多岐にわたるため、臓器別にある程度の分担が決まっています。私は主に、食道、胃、大腸の内視鏡診断・治療を担当しています。内視鏡治療の多くは腫瘍の切除です。大腸の小さなポリープは外来での下部消化管内視鏡検査時に積極的に切除しますが、癌が疑われる大きな腫瘍は入院でESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を施行します。ESDは日本発祥の手技で大きな腫瘍でも内視鏡的に一括切除が可能で、胃から始まり食道・大腸でも行われております。当院でも2003年に胃のESDから始め、食道、大腸も徐々に数を増やし、

2018年は食道47例、胃123例、大腸75例の合計245例を施行しています。

以前は咽頭癌に対しては拡大手術や放射線治療での治療が中心でしたが、最近では表在癌の発見が増えるとともに経口的な局所切除がガイドラインにも記載され、当院でも頭頸部外科/耳鼻咽喉科と協力しESDやELPS（endoscopic laryngo-pharyngeal surgery：内視鏡で観察下に経口的に切除する）での切除を行っています。咽頭表在癌の経口的切除は2008年にEMRの手技で開始し、2010年からはESD、2013年からはELPSも併用しています。2018年には19例施行していますが、うち17例（89.5%）は内視鏡医による上部消化管内視鏡検査で発見されており、咽頭表在癌の発見においても消化器内視鏡医の役割が大きくなっています。

他にも、GIST（Gastrointestinal Stromal Tumor）などの胃粘膜下腫瘍に対しては、LECS（Laparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery：腹腔鏡・内視鏡合同手術）という内視鏡と腹腔鏡合同での切除も外科と協力して施行しています。

また、腫瘍に対する内視鏡治療や外科治療にはまず内視鏡診断が重要です。腫瘍の質的診断や範囲診断に最近ではNBI（Narrow Band Imaging：狭帯域光法）や拡大内視鏡での診断が必須であり、当院では最新の内視鏡機器をそろえ鎮静下に精密検査を施行しています。

癌の治療は早期発見が最も大事だと考えます。今後も質の高い内視鏡診断を行い、なるべく早期に癌を発見し、正確な診断を行い、質の高い内視鏡治療を提供できるよう努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



下咽頭表在癌切除前



経口的切除後

臨床研究推進センターからのお知らせ

当院で実施中の治験・臨床研究のお知らせ

“より安全で、より有効な”医薬品を、より早く患者の皆様にお届けできるよう、新薬の開発に貢献するため治験を積極的に受託、実施しています。

また、より良い治療法を確立するための質の高い臨床研究の実施にも取り組んでおり、それらの成果を医療の質および安全性の向上に繋げることで社会に還元することを目指しています。



当院ホームページに掲載しております。

中央市民病院ホームページ

実施中の治験・臨床研究について [画面右下](#)

●お問い合わせ窓口● 臨床研究推進センター TEL：(078) 302-5176 Mail：c_ccri@kcho.jp

地域連携からのお知らせ

初診・予約外受付時間変更のお知らせ

平素は当院の運営に格別のご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、**令和2年1月6日(月)**より外来混雑緩和のため、予約外受付時間を下記のとおり変更させていただきますのでお知らせいたします。なお、紹介状をご持参いただく場合の受付時間につきましては変更ございません。**患者さんの待ち時間軽減のためにも、ご紹介の際は FAX 予約をご利用ください。**

何卒ご理解賜り、今後ともよろしくお願い申し上げます。

令和2年1月6日(月)より、右のとおり変更いたします。
※FAX予約をしていただく場合の受付時間の変更はありません。

紹介状あり ➡ 8:30 ~ 11:30
紹介状なし ➡ 8:30 ~ 11:00

オープンカンファレンス等のご案内

腹部超音波オープンカンファレンス

■日時 3月5日(木) 18:30~20:30 ■場所 中央市民病院 1階講堂

膵臓の超音波検査を行っていますと膵嚢胞性病変の経過観察中に膵癌が発生する症例や、嚢胞性病変を合併する膵癌症例が少なからず経験されます。したがって、膵の嚢胞性病変の一部には膵癌の前癌病変が含まれていると考えられます。今回は「膵嚢胞性病変の超音波診断」をテーマにしてオープンカンファレンスを開催します。興味のある方、是非ともご参加ください。

■テーマ 「膵嚢胞性病変の超音波診断」

1. 症例提示 2. 講演 中央市民病院 消化器内科医長 和田 将弥

問い合わせ先 中央市民病院 臨床検査技術部 栃尾
TEL : (078) 302-4321 (代表)

参加費
無料

がん診療オープンカンファレンス 日医生涯教育講座 1単位

■日時 3月5日(木) 18:00~19:00 ■場所 神戸市医師会館 3階市民ホール

日頃、お世話になっている地域の医療機関の皆様へ、当院の各診療科で実施している治療方法などをお知らせいたしたく、開催いたします。どなた様もお気軽にご参加いただきますようお願い申し上げます。

■演題 「リンパ系腫瘍に対する新規治療法」 中央市民病院 血液内科部長 石川 隆之

問い合わせ先 中央市民病院 地域医療推進課 稲越・陰地
TEL : (078) 302-4321 (代表) FAX : (078) 302-4424 MAIL : renkei@kcho.jp

●当日参加可能(準備の都合上、事前のお申し込みをいただけると幸いです。)

参加費
無料

連携登録医にご登録いただきました

当院では、患者さんが地域で安心して継続した医療を受けられるよう、当院と連携・協力して安全で質の高い医療を提供される市内医療機関の先生方を「連携登録医」として登録する制度を設けています。

新たに下記の先生方にご登録いただきました。

区別住所 50 音順で掲載しております。

区	連携登録医療機関	住所
東灘区	松本みかげクリニック	御影郡家1-25-12
東灘区	佐々木医院	本山北町3-3-14
灘区	CASANOVA DENTAL CLINIC	水道筋6-1-18
灘区	高端歯科	宮山町3-3-29

区	連携登録医療機関	住所
中央区	SAKULAデンタルクリニック	加納町4-3-3
中央区	中原形成外科クリニック	花隈町6-22
垂水区	安木眼科	霞ヶ丘7-8-22
西区	にしふじ歯科医院	春日台1-25-1

病院ニュース 69 号に誤りがございました。深くお詫び申し上げます。

誤

正

東灘区 ふじた小児科 岡本1-1 → 岡本1-5-1

患者さんをご紹介いただく際は・・・

FAX 予約をご利用ください!

地域の医療機関の先生方からご紹介いただく患者さんの待ち時間を短縮するため、診察・検査の FAX 予約を受付しています。FAX 予約の方は予約時間どおり受診できるように努めておりますので、是非ご利用ください。

- FAX 予約申込時、申込書に診療経過等の記載がなくても FAX 予約は可能です。診療経過等はその日のうちに記入し、再送信して下さい。
- 患者さんのご都合がはっきりしない場合でも仮予約をお取りください。仮予約後、患者さんご自身で予約変更が可能です。地域医療連携センターへ電話で連絡をして頂くようお願いいたします。

【手順】

1. 「FAX 予約申込書」を地域医療連携センターへ送信して下さい。
2. 「予約報告書(上段)兼初診予約券(下段)」を返信します。※検査予約は返信にお時間をいただく場合がございます。
3. 「予約報告書(上段)」は貴院で保管し、「初診予約券(下段)」及び「診療情報提供書(紹介状)」を患者さんに手渡して下さい。

①

まず、この情報をお送りください。

【診療科/診断名/主訴】
先生ご自身でご記入をお願いします。

【患者さんの情報】

②

【診療経過等】
外来診療を終えられてから、お手すきの時にお書きいただきお送りください。自院の書式をお使いいただいても差し支えありません。

PET/CT 検査依頼のご案内とお願い

放射線技術部

●当院の PET/CT 検査について

2017年11月より、地域医療機関の先生方からの PET/CT 検査依頼に対応可能となりました。

当院は、サイクロトロンを備えており、PET 薬剤 (FDG) は、院内で合成し、品質検定に合格したものを使用しています。そのため、体重により適量の PET 薬剤を投与することが可能となり、安定した画像の提供を行っています。



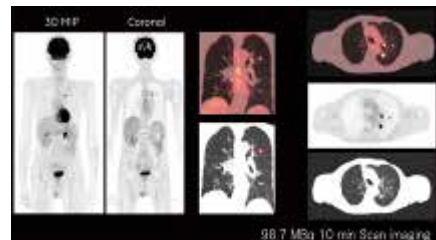
2018年3月に「5リング搭載高感度型 PET/CT 装置(GE Healthcare 社製 Discovery IQ)」が導入され、従来の装置に比べ、低被ばくで高画質の検査が可能となりました。

また現在、地域医療機関の先生方からのご依頼であっても、検査予約待ちがほぼない状態で、患者様のご希望に添った検査予約が可能となっております。

●地域医療機関の先生方へのお願い

FDG-PET/CT 検査は、悪性腫瘍(早期胃がんを除き、悪性リンパ腫を含む)において保険の適用となり、検査目的は病期診断、再発・転移診断となっております。悪性腫瘍の疑いなどの良悪性鑑別、治療効果判定(悪性リンパ腫を除く)は、保険の適用外となりますのでご注意ください。

また、他の画像診断により病期診断、再発・転移診断が確定できない場合に限り、FDG-PET/CT 検査を受けられる前に、必ず CT・MRI の画像検査を施行し、画像データを持参していただきますようお願い致します。



地方独立行政法人 神戸市民病院機構
神戸市立医療センター中央市民病院
Kobe City Medical Center General Hospital

〒670-0047 神戸市中央区港島南町2-1-1

代表 Tel: 078-302-4321 Fax: 078-302-7537

FAX予約 Tel: 078-302-6031 Fax: 078-302-2251

地域医療連携センター

Tel: 078-302-4321(代) Fax: 078-302-4424

★緊急受診・転院のお問い合わせは★
専用ダイヤル: 078-302-5172

平日 9:00 ~ 17:00 地域医療連携センター
上記以外の時間帯 救急外来受付

脳卒中ホットライン
078-302-8030

産科ホットライン
078-302-5104

胸痛ホットライン
078-302-6162

小児科ホットライン
078-302-5343

心臓血管外科ホットライン
078-302-4417